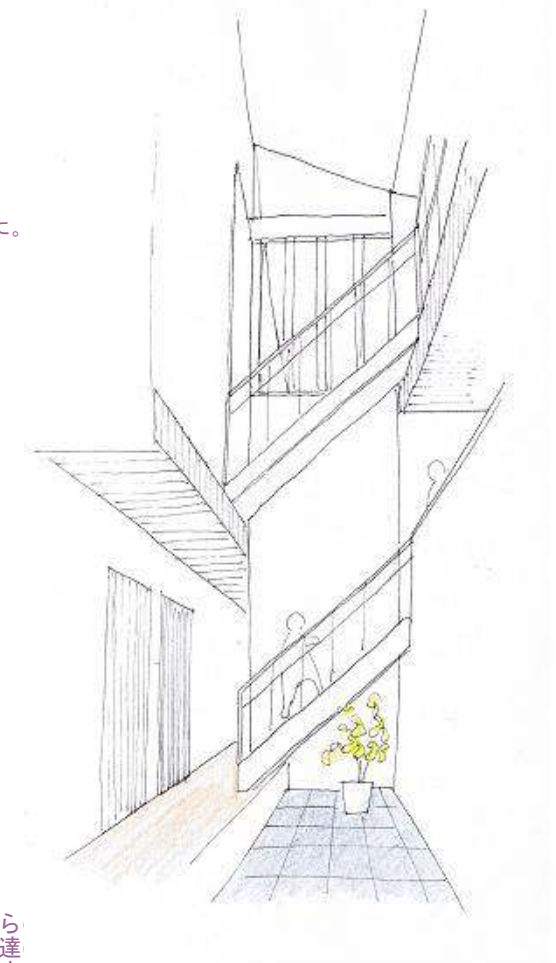
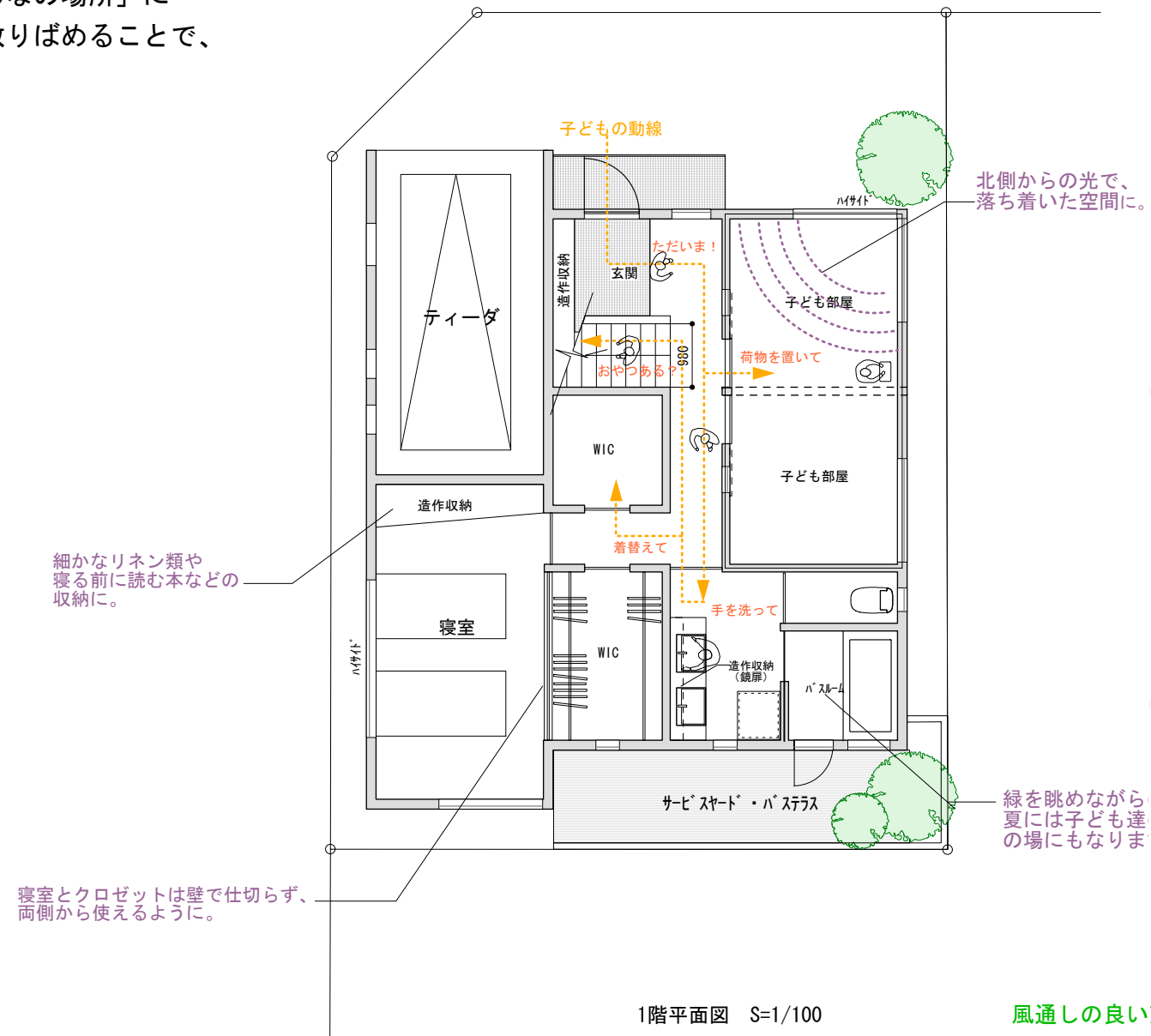


■ 2階リビングプラン・動線計画

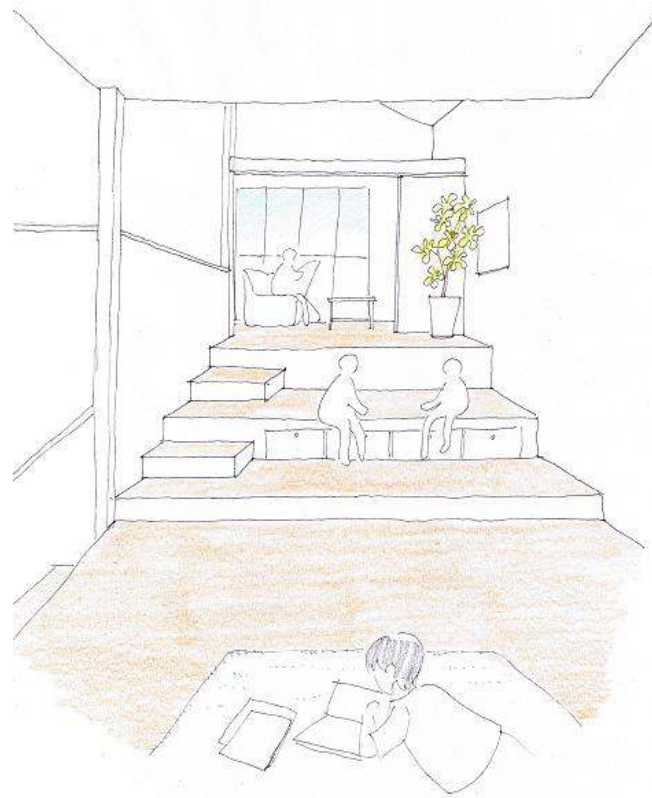
明るくのびやかな空間が取れるという2階リビングの最大の良さの一方で、子ども達の帰ったときの様子がわからないのでは、子ども部屋ばかりが居場所にならないだろうか、と心配になるのが親心です。しかし、こういった心配事を「間取り」で解決できると、私たちは考えています。

この計画では、子ども室の場所、階段や中2階との関係、吹き抜けを通した上下階のつながりなどです。そして、何より中2階から上の「みんなの場所」に大階段や、ロフトなど、子ども達がワクワクするような仕掛けを散りばめることで、家中を子ども達の居場所にしたいと思っています。

玄関を入ってすぐ、家族みんなが通る場所に子ども室を。子どもの様子が自然に伝わること、子どもにとっても家族の気配がわかることはお互いの安心感につながります。また、子ども室の目の前に2階への階段を設け、みんなの場所との距離を最短に。



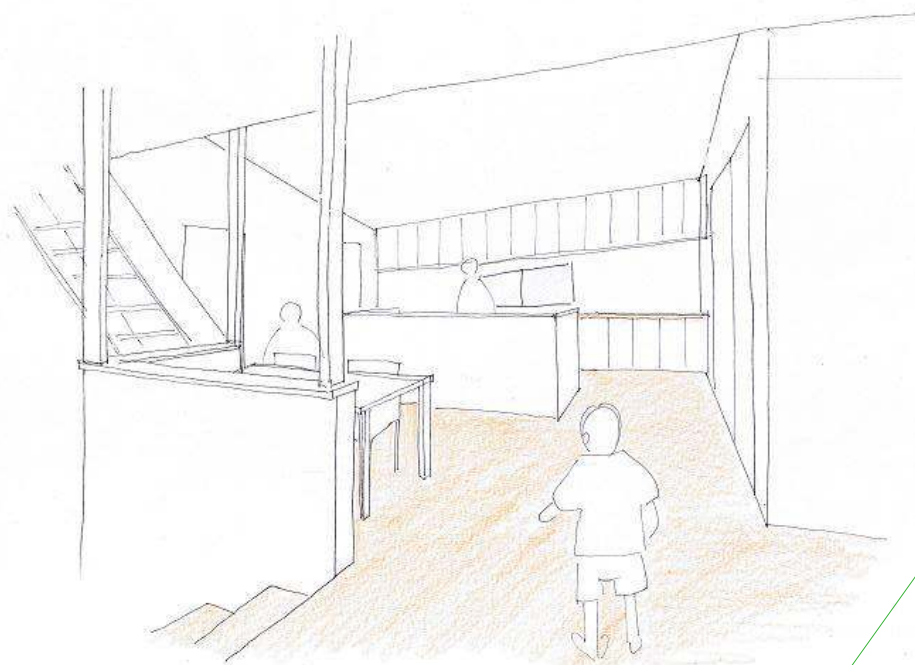
風通しの良い東南に水周りを。通風はそれだけで、掃除の手間を軽減し、設備を長持ちさせます。また、家族のクローゼットとまとめることで、洗濯関連の家事のほとんどが1階で済みます。子ども達と共有のクローゼットは、衣類の管理を教えるにも有効です。



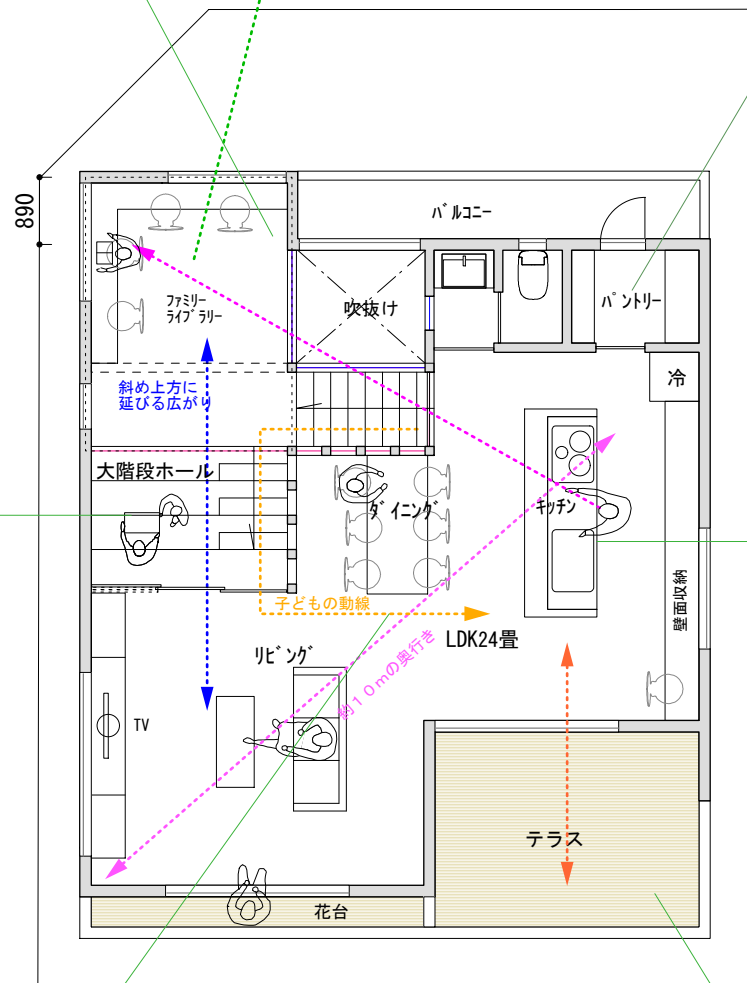
中2階のファミリーライブラリーは、
1階の子ども室と2階のリビングをつなぐ拠点です。
家族で情報や時間を共有できる大切な場所です。

ちょっと疲れたらお向かいの緑を
ながめてひと休み。

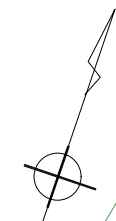
大階段は、子ども達の遊び場であり、読書ベンチであり、
また、第二の玄関ホールでもあります。
歳時記に合わせて飾りつけを愉しんだり、
子ども達の作品を飾ったり。
また、ファミリーライブラリーにスクリーンを下ろせば、
家族もお客さまもみんなで楽しめるAVシアターとなります。



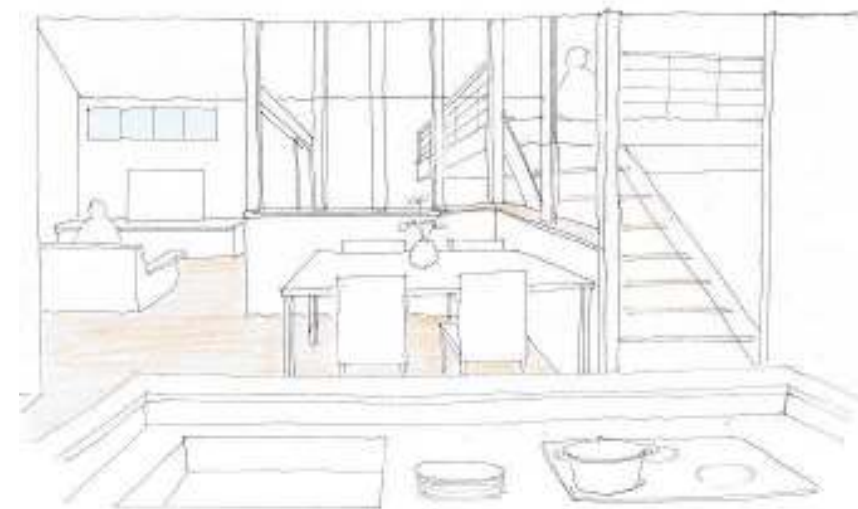
ダイニングテーブルを中心に、子ども達の動線は
1階から中2階、2階、そしてロフトへと回遊して
つながっていきます。それぞれがその時々で好きな
場所を見つけられるように。



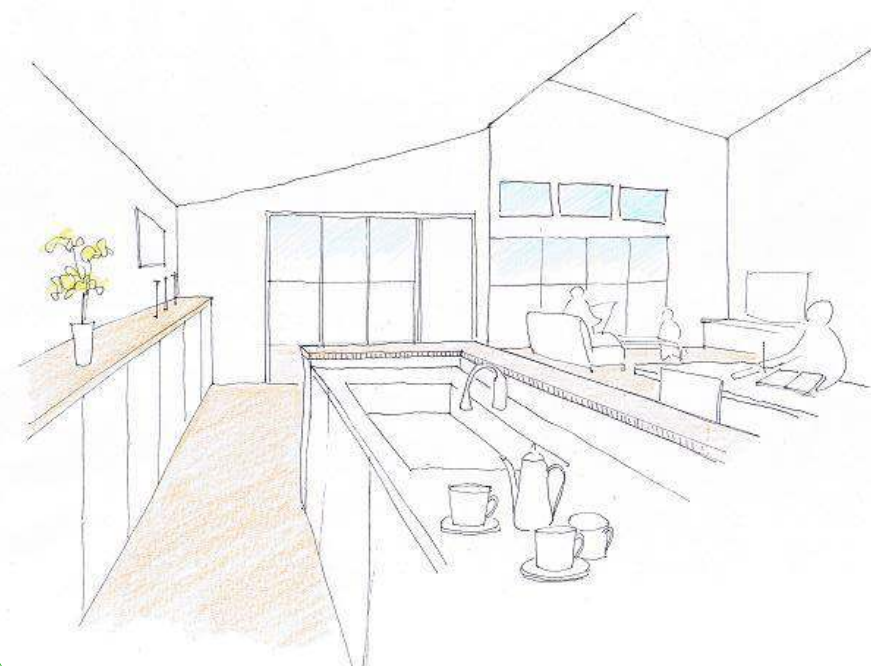
2階平面図 (リビング階)



キッチンに続くパントリーは、さらに
サービスバルコニーへと続く家事のバックヤード。
大きなストックや家事にまつわる細々としたもの、
資源ゴミなどをザックリとしまえる裏舞台を設けておくと、
表側のオープンキッチンはずっきりと保てます。



キッチンからは、ダイニング・リビングはもちろん、
ファミリーライブラリーやロフトの気配も感じられます。



6畳のテラスはキッチンとつながり、
ダイニングとつながります。もちろん冬でも暖かな
日差しが注ぎ、子ども達の遊び場としても有効です。